



はじめとした季節がやってきました。雨の日は長靴を履いて傘をさすのが楽しかったり、レインコートを着るのが嬉しかったりと子どもたちにとっては楽しい要素や発見がたくさんある季節です。時にはかえるやカタツムリを見つけたりして一緒に季節を感じ、親子でゆったりと楽しめる時間が持てるとよいですね。

少しなら分けてあげられる2歳児たち

心のなかにできた対の一方に自分の意図を、他方に他者の意図を位置づけて、あくまで自分の意図を通そうとする1歳半の子どもたち。そしてなんでも自分のもの、自分のところへ集めてしまいたい1歳半の子どもたち。2歳になったらいったいどうなるのでしょうか。

お皿にいっぱい入った小麦粉粘土を、お皿ごと友だちに取られようとしたら、もちろん力強く抵抗します。きっと、そんなけんかが絶えないはず。しかし、お互いことばが使えるようになりはじめている子どもたち。お皿のなかの小さな塊を指さして、「それちょうだい」と言われたなら不思議と気前よく分けてあげるではありませんか。こんどは、分けてあげた子が、「それ、ちょうだい」と別の塊を欲しがりました。すると、今分けてもらった子は、それを気前よくあげられたのです。

あんなに欲張りだった子どもたちなのに、なんで分け与えることができるようになったのでしょうか。それは、少しの粘土なら分けてあげても自分のつくった世界は、守ることができるからです。いっぱいもっているから、そのうちのひとつなら、自分の世界を崩すことにならないからです。なるほど、2歳になると、少しは冷静に、目前の世界をとらえることができはじめるのです。そこには、目前の世界をひとつの塊で見るのではなく、全体と部分、全体と要素、たくさんと少しという関係でとらえる認識の力が芽生え始め、部分なら、要素なら、少しなら、相手に分けてあげることができるようになるのです。このような全体と部分、たくさんと少しなどの関係でとらえる力は、対比的認識とよばれています。対比的認識が芽生えたことにより、「少しなら我慢できる」という自分をコントロールする力が現れ出てきたのです。しかし、この力はまだ芽生えの時であり、自分の世界を守ろうとする心、欲張りな心は現実の生活のなかでは圧倒的に強いのです。だから、友だちに貸してあげられない姿、分けてあげられない姿

のほうが、おとなの目に映る時期でしょう。「〇〇ちゃんにもあげたら？」と言われれば「いや!」「あかん!」の言葉が返ってくるはず。だから「何で分けてあげられないの。」と叱られることばかりでしょう。しかし、こどものなかには確かにこの少しなら分けてあげられる力が育ってきているのです。こんなとき、「何で分けてあげられないの」と言う前に、「小さいのひとつ、どうぞしてあげたら、〇〇ちゃんありがとうって言うてるよ」などと子どもが立ち戻れるようにしてあげましょうね。このような少しの我慢は、分け与える心だけではなく、少し待つことができる心にもなってくれます。すぐに食べたい食べたいと言っていたおやつでも、「先生がみんなのお皿に分け分けするまで待っててね」と言えば、それが少しの我慢で済む見通しがもてるゆえに、お皿に手をかけることなく、いただきますをいっしょにすることができるのです。

参考文献 『発達の子 上』 白石 正久 著

※個別相談も行っています。職員とゆっくりと話がしたい。子どもの発達状況を知りたいなどございましたら、担当職員の方にお知らせください。

次回のめだか教室は…

めだか教室①…7月 9日(火) 9:20~11:15 →みずあそび をします

◎持ってくる物 水着(もしくは水あそび紙パンツ)・タオル・着替え・水筒
※保護者の方も濡れてもいい服装をお願いします♪

めだか教室②…7月23日(火) 9:20~11:15 →みずあそび をします

◎持ってくる物 水着(もしくは水あそび紙パンツ)・タオル・着替え・水筒
※保護者の方も濡れてもいい服装をお願いします♪

『参加される皆様へ』 ~ご協力をお願いします~

- お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- 参加費は無料です。(おたよりがホームページに掲載され、通信費が必要なため) 製作やクッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡します
- 水分補給のため、お茶を用意して下さい(ジュース類は控えてください)
- きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前に職員までご相談ください
- トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください